

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために開催しています。



笑顔ちゃん ©みんなのよい食プロジェクト

＜過去の全国受賞作品＞

JAグループ (<https://life.ja-group.jp/education/contest/no46>) でもご覧いただけます。



＜茨城の受賞作品および応募作品＞

JAグループ茨城専用HP (<https://www.ib-ja.or.jp/sakubunzugaconcool/>) からご覧いただけます。



※学年は受賞当時のものです。

図画部門

第44回内閣総理大臣賞



「おむすびは勉強のおとも」
静岡県長泉町立北中学校3年
清和 羽音さん

第46回内閣総理大臣賞



「水田の帰り道」
群馬県太田市立沢野小学校5年
吉江 小浜さん

第46回 J A 茨城県中央会会長賞



「ぼくのおとうさん、おかあさんの田んぼ」
筑西市立鳥羽小学校1年
山口 翼さん

作文部門

第46回内閣総理大臣賞と第46回 J A 茨城県中央会会長賞

「ぼくの勝負メシ」
茨城県桜川市立雨引小学校6年
篠崎 迅さん

「誕生日おめでとう！かんぱーい！」
ぼくは九月生まれ。祖父の田んぼの稲刈りが終わった次の日に生まれた。祖母に、「お米ができるの待って出てきたんだよね」と今でも笑い話にされるくらい白いご飯が大好きだ。お祝いの乾杯の手に持っているのは、茶わんだ盛りのピカピカに光る新米のご飯だ。

しかし、そんな白米大好きなぼくでも、どうしてもご飯がのどを通らない日がある。

ぼくは、走ることが好きで、小学三年生から陸上を始めた。大会の日、朝から緊張で胸がいつぱいで、食べないと力が出ないことは分かっている。どうしても食欲がわかない。とりあえず何か口に入れなければ、とゼリー飲料を無理やり流し込む。でも、それではいい記録が出ないことも分かっていった。

そんな時悩んでいるぼくを見かねた母が色々調べて、ぼくにぴったりじゃないかとすすめてくれたのが、「パワーボール」だった。パワーボールは、ピンポン玉サイズのラップでくるまれたおにぎりで、フィギュアスケートの羽生結選手やオリンピックの競泳選手をも支えた必勝フードだ。人間の体に必要なたんぱく質の中で最も重要な炭水化物で、体の分解されると、グリコーゲンとして筋肉に蓄えられ、運動をする時のエネルギー源になる。これが不足すると、パフォーマンスが低下し、集中力が切れ、ケガのリスクが増えたり、疲れが出やすくなったりするそうだ。そこで、短時間で手軽に栄養補給ができるように考え出されたのがパワーボールで、練習や試合の合間にパクつと食べられる一口おにぎりが、アスリートにとって最適な栄養源というわけだ。日本人にとって食べ慣れた、身近なおにぎりが一流のスポーツ選手を支えていると知っておどろいた。

それを知ってからは、練習や大会の時には、毎回母がパワーボールを持って持たせてくれる。口サイズで、一つ一つラップで包んであるので、食欲のない時でも一口でパクつと食べられて、少しずつ栄養補給ができる。練習の合間や、大会のレース前の緊張の中でも気負わずに食べられるパワーボールは、今ではぼくにとって欠かすことのできない勝負メシになった。

大会では、スタートだけは自信があっただけで最初とび出した。後半スタミナ切れで追い抜かれていた。ぼくももうまくエネルギー補給ができるようになってからは、最後まで力を出し切れるようになった。改めて、ご飯の底知れないうちのパワーのすごさを知った。周りに比べると、まだまだ体が小さいぼくだが、これからはパワーボールに力をもらって、大好きな陸上を続けていきたい。朝夕の涼しさに秋の気配を感じる今日このごろ。田んぼの稲が黄金色に輝き始める。夏休みが終わると、ぼくの誕生日がやってくる。今年も、新米で乾杯するのが楽しみだ。

応募総数

第46回「ごはん・お米とわたし」作文部門:36,474点 図画部門:45,951点
作文・図画コンクール R3年度茨城県応募総数(作文:4061点、図画:3404点)

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール



課題 (作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや
家族とのコミュニケーション、
お米・ごはん食についての思い出や
考えたことなどを素直な気持ちで
自由に表現して下さい。

第47回 作品募集中!

笑顔ちゃん
©みんなのよい食プロジェクト



「国消国産(こくしょうこくさん)」とは、自分たちが食べる食材は、できるだけ自分たちの国でつくるという考え方で、詳しくは特設サイトからご覧いただけます。

しめきり日 令和4年9月7日(水) 必着

応募資格 小学校および中学校に在籍する児童・生徒。特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童・生徒。

- 【作文部門】**
1部 小学校1年生～3年生 (B4 400字詰め原稿用紙2枚以内)
2部 小学校4年生～6年生 (B4 400字詰め原稿用紙3枚以内)
3部 中学校1年生～3年生 (B4 400字詰め原稿用紙4枚以内)
- 【図画部門】**
1部 小学校1年生～3年生 [四つ切り(38cm×54cm)の市販用紙を使用。画材は特に制限しません。]
2部 小学校4年生～6年生
3部 中学校1年生～3年生

- 賞**
- | | | |
|----------------|------------------------------|------|
| 内閣総理大臣賞 | 作文・図画部門各1名 | 計2名 |
| 文部科学大臣賞 | 各部門各部門ごとに1名 | 計6名 |
| 農林水産大臣賞 | 各部門各部門ごとに1名 | 計6名 |
| 全国農業協同組合中央会会長賞 | 各部門各部門ごとに1名 | 計6名 |
| 優秀賞 | 各部門各部門ごとに15名 | 計90名 |
| 奨励賞 | 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校 | 計14校 |
- ※各部門には審査基準がありますので、詳細については上記お問い合わせ先までご連絡下さい。

主催: 農業協同組合/都道府県農業協同組合中央会/全国農業協同組合中央会
後援: 内閣府/文部科学省/農林水産省/全国都道府県教育委員会連合会/全国市町村教育委員会連合会/日本放送協会(NHK)/全国連合小学校長会/全日本中学校長会/(公社)全国学校図書館協議会/(公社)日本PTA全国協議会/(公社)米穀安定供給確保支援機構
協賛: 全国農業協同組合連合会/全国共済農業協同組合連合会/農林中央金庫/全国厚生農業協同組合連合会/(株)日本農業新聞/(一社)家の光協会/(一社)全国農協観光協会

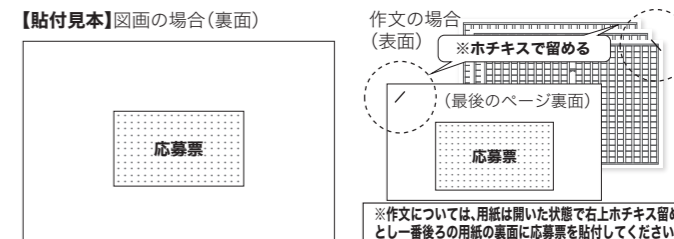
耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ

茨城県農業協同組合中央会 農政広報部またはよりのJAへ
茨城県農業協同組合中央会 連絡先 TEL.029-232-2074

個人作品貼付用 応募票

| | | | |
|----------------|---|----|-----|
| 作品番号 (先生記入) | | | |
| 作品の題名 | | | |
| フリガナ | | | 性別 |
| 氏名 | | | 男・女 |
| フリガナ | | | |
| 学校名 | 立 | 学校 | 年組 |

- (注) 1. 必要事項を記入の上、作文および図画作品に貼付(糊付け)してください。
(太い線で囲まれた部分は、必ずご記入ください)
 2. コピーしてお使いください。
 3. 送付前に先生による確認をお願いいたします。



記入例

| | | | |
|----------------|-----------|-----|----------------|
| 作品番号 (先生記入) | 1 | | |
| 作品の題名 | 楽しかったイネかり | | |
| フリガナ | ヤマダ | タロウ | 性別 |
| 氏名 | 山田 太郎 | | 男・女 |
| フリガナ | バイコウ | | |
| 学校名 | 水戸市 | 立 | 梅香小 学校 1 年 1 組 |

応募者一覧表 (学校記入用)

(学校→JA→中央会)

| | | |
|-----|---|----|
| 学校名 | 立 | 学校 |
|-----|---|----|

| | |
|---------|-----|
| 学校所在地 〒 | TEL |
|---------|-----|

| |
|-------|
| 担当教師名 |
|-------|

応募作品数

| | 小学校 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 中学校 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|----|-----------|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|
| 作文 | | | | | | | | | | 名 |
| 図画 | | | | | | | | | | 名 |

※コピーしてお使いください。 ※推薦作品数は各部ごとに上限はございません。 ※学年ごとに作文と図画の応募人数をご記入下さい。 ※ご提出いただいた人数分、参加賞をお送りいたします。 ※応募者については、各学校ごとに管理して下さい。 ※必ず、作品と一緒にご提出下さい。

第47回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール実施要領

令和4年5月 茨城県農業協同組合中央会

主催：農業協同組合／茨城県農業協同組合中央会／茨城県JA農政・地域振興対策協議会／茨城新聞社

後援：茨城県／茨城県議会／茨城県教育委員会／茨城県農業会議／全国農業協同組合連合会茨城県本部／NHK水戸放送局／茨城放送／日本農業新聞東京支所／家の光協会

課題(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや、家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現した作品とします。

応募方法

- 応募作品には必ず**応募票(P.2を参照)**を貼付してください。なお、作文については、用紙は開いた状態で右上ホチキス留めとし、一番後ろの用紙の裏面に応募票を貼付してください。
- 応募の際は、作文・図画毎に必ず**応募者一覧表(P.2を参照)**を添付して作品とともに提出ください。
- 作品には、「**ごはん・お米とわたし**」以外の題名をつけるよう指導してください。

応募規則

応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

(注) 本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害をもつ児童・生徒については、その旨を特記事項として、応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

作品の著作権と個人情報について

- 作品を応募することによって、応募作品をJAグループの広報活動および諸事業のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。また、印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。
- 記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、本会の広報媒体(入賞作品やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
- 作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に許諾したものとします。

応募数：作文・図画とも、1学校あたりの応募作品数の上限はございません。

作品の返却について：応募いただいた作文・図画については返却いたしません。

全国コンクールへの出品：県審査の結果、作文9点(各部とも3点)、図画9点(各部とも3点)を全国コンクールへ出品します。

本県コンクールの賞(作文・図画各部門)

○最優秀賞 JA茨城県中央会会長賞(1点)

○優秀賞 各1点

茨城県知事賞、茨城県教育委員会教育長賞、NHK水戸放送局長賞、日本農業新聞東京支所長賞、家の光協会会長賞、茨城県議会議長賞、茨城県農業会議会長賞、茨城新聞社長賞、茨城放送社長賞

○佳作 9点 ○入選 100点程度

第一次・第二次審査を通過し、全国審査へ推薦した作品を中心に各賞を選定します。また、これらを除き第一次審査を通過した作品を入選とします。

表彰式：令和5年1月中旬に表彰式を行う予定です。

| | |
|--|---|
| 審査にあたっては、次の基準に従いますので応募の際にはご留意ください。 | |
| 作文部門審査基準 “上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。 1. 課題に沿った作品であること。 2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること(子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは好ましくない)。 3. 問題のとらえ方や考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を素直に述べていること。 4. 自分の生活経験がにじみ出ていること(抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない)。 5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。 6. 規定の枚数であること。 7. 誤字、脱字がなく、その他の表記も明確であること(誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、消書させてください)。 8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す。 (学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す)。 9. 各部規定の 9割以上 (作品の題名、学校名、学年、氏名を含む)を書いていること。 | 図画部門審査基準 《 主題のとらえ方について 》 1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。 2. 理解させるためディスカッションすること。 3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。 《 基準について 》次のようなものは審査の対象外になります 1. ごはん及びお米を主題としていないもの。 2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。 3. おとぎ話や童謡をモチーフにしたもの。 4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。 5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの(擬人化したもの)および実在しないもの(空想やファンタジー性のあるもの)。 6. 石、木片などを貼りつけたもの。 7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。 8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。 9. 台紙に貼って応募したもの。 10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。 ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。 |

